

佐賀市議会議員 自民さが たか ひろ

いなば 嵩広

ごあいさつ

毎日に暖かさを感じる季節となりました。日新小や昭栄中では卒業式が執り行われ、ご卒業の皆さんのこの先が前途洋々な未来である事を心から願うと共に、児童生徒の皆さんの力強い眼差しから、私自身も佐賀市の明るい未来を切り開いていけるよう覚悟を新たにしました。ご卒業の皆さん、また保護者の皆様、誠にありがとうございます。

さて、佐賀市では国スポ・全障スポが終了し、そのレガシーをどう活かしていくかを考えていかなければなりません。持続可能な成長を実現させ、佐賀市のために引き続き取り組んでまいります。



佐賀市2月定例会のご報告

2月27日に開会し、3月21日に閉会しました。2月定例会は令和7年度の予算を審査する1年の中でも重要な定例会です。令和7年度の予算総額は1,132億円という過去最大の予算編成となりました。佐賀市はこの最大の予算を「未来を創る進化型予算」とし、未来を担う子ども・若者世代への支援や市民ニーズに細やかに応える行政サービス改革に力を入れた予算編成となっております。

令和7年度2月定例会当初予算 主な事業

子どもの医療費助成事業(子育て支援部) 約10億2,600万円

中学生まで実施していた医療費の助成事業を高校生年代まで広げるために要する経費です。高校生年代まで拡充したことで事業費が約1.4億円増加しました。佐賀県内ではすでに取り組んでいる市町がほとんどでしたが、本市でも取り組みが始まります。

窓口改革推進事業(市民生活部ほか) 7,150万円

「行かなくていい」「待たなくていい」「書かなくていい」「迷わなくていい」をテーマに窓口改革をさらに進めるために要する経費です。

河川水路の浚渫伐採事業ほか(建設部) 3億6,900万円

河川の水流を阻害する樹木の伐採や浚渫に要する経費です。前年度比3.4%増となりました。

一般質問 「市内企業のBCP（事業継続計画）策定の推進を！」

BCPとは災害等の緊急事態においても、中核事業の維持及び早期復旧ができ、市内経済の強靱化を図るためにも必要な計画です。台湾の半導体メーカーであるTSMCを誘致した熊本では精密機械を輸送する運輸業の会社が取引先として選んでもらうためにBCP策定に取り組んだという事例があります。企業競争力の向上も期待ができるBCP策定を推進するべきでは？

1 問 現在、佐賀市内の企業においてBCP策定をしている企業の数は？

答 佐賀市としては把握をしていない。そのため市内の各商工会に確認したが、各商工会においても把握をしていないとのことであった。

2 問 BCP策定をしている企業の把握から取り組んでみてはどうか？

答 関係団体の協力を得て、市内企業の策定状況の把握に努めていきたい。

3 問 実態の把握と合わせてセミナー等を通じた啓発も重要だと考えるが、取り組んでみてはどうか。

答 BCP策定は重要な取り組みである。市としても、各商工団体が行うセミナー等の情報など、商工団体と協力しながら、市内企業へ周知を図っていきたい。

その他の質問

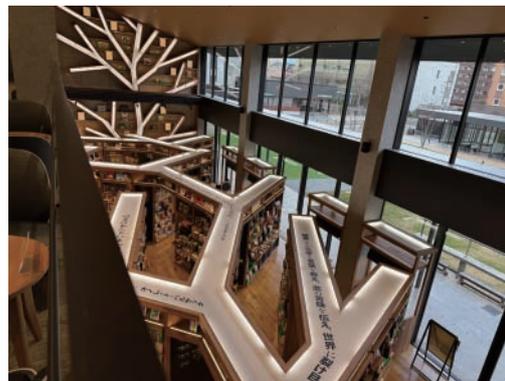
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した観光誘客事業について
- ・金利上昇局面における起債のあり方について
- ・小学校進学時のクラス編成について

北陸新幹線敦賀～福井間の行政視察のご報告

東京から金沢までが新幹線で繋がり大きな話題となりました北陸新幹線。その北陸新幹線が2024年3月に金沢から敦賀間が延伸開業されました。これにより、敦賀から福井間で運行していた特急は新幹線に移行したことで廃止され、新幹線と並行する在来線は自治体が出資する第3セクター「ハピラインふくい」に移管されました。これは仮に新鳥栖から武雄間がフル規格新幹線で繋がった場合、佐賀市においても懸念される事項です。現在、佐賀から博多間は特急が運行しており、乗車料金も手頃で非常に便利であることから新幹線の接続の必要性に多くの方が疑問や懸念を抱いております。果たして、敦賀から福井間は新幹線が開通し、どのような問題が起きたのでしょうか？



新幹線敦賀駅に停車中の北陸新幹線。



新幹線開業に合わせて設置された施設「otta (オッタ)」館内には図書館や飲食店などが入居しています。



北陸新幹線福井駅は新幹線駅の中でもコンパクトな作りをしており、佐賀駅も同規模になるのではないかと予想されます。

在来線特急がなくなった敦賀市は

敦賀市民の方は通勤通学で在来線特急を多く利用されていたようです。そのような中で在来線特急がなくなり、多くの方は前述の「ハピラインふくい」を利用するようになりました。その多くの理由が新幹線の乗車賃が高いということでした。そこで「ハピラインふくい」は特急の代わりとなる快速電車を運行させることで利用者の方々が抱える課題を解消することになりました。

敦賀市において新幹線の効果は

一方で、新幹線は敦賀への出張のビジネスマンや観光客の利用が中心となり、市内の宿泊施設は新幹線開業前に比べると1.7倍まで増加し、市内の飲食店も賑わいを見せておりました。また、開業までの公共事業では1000人ほどの建設業関係者が常時市内に宿泊し、市内ホテルや周辺の飲食店の稼働率は高く、様々な分野まで経済波及効果が認められました。

敦賀市では新幹線による観光や産業面での効果は認められましたが、市民の方の利用は少ないのが現状であり、佐賀市も同様だと予想されます。佐賀駅に新幹線が接続されるとした場合、快速のような特急同等の利便性、速達性を維持することが何よりも重要だと考えます。

佐賀市議会議員

いなば 嵩広 たか ひろ

〒840-0045 佐賀市西田代 2-1-9

☎ 0952-77-0836
080-3732-6929

WEB サイト



LINE



プロフィール

- ・1985年10月31日生まれ 東京都出身 成蹊大学法学部法律学科卒業。大学卒業後、リグナ株式会社というネット通販会社で経験を積む。
- ・その後、インテリア関係の商社、株式会社ジェイ・シータウン(主な取引先: 株式会社飯田産業、防衛省ほか)にて多くの業務に取り組む。
- ・佐賀市西田代出身の妻と結婚した事で、佐賀にご縁を頂き、佐賀で子育てをしたいと妻に相談をし、8年前に移住。12歳の長女と8歳の次女、6歳の長男の子育て真最中!
- ・掃除や洗濯、お皿洗いなどの家事が日課で、休日は料理を担当することも。得意料理はパスタ全般。趣味は読書、料理、キャンプ、ランニング(桜マラソン2度の参加&完走!)
- ・福祉教育委員会、広報広聴委員会、九州新幹線整備に関する調査特別委員会、議会運営等改革検討会、中部広域連合議会(介護・広域委員会)

